

自己評価結果票

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念を掲げ掲示している。		
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関入口に理念を掲示している。またそのコピーを各自が携帯し、日常のケアに意識的に取り組んでいる。	○	ミーティングや会議などでその都度議題にして確認していきたい。また申し送り、記録の取り方にも内容を反映したものとしたい。
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	契約書の中に明示し、利用者及び家族に説明し、同意を得ている。また運営推進会議において、家族や地域の方と話し合う機会を持ち、理解を呼びかけている。	○	自治会の毎月の例会や行事に出席し、ホームの生活の様子を話したり、出来ればホーム便りを配布したりして、地域の方々に理解を深めていただけるよう働きかけたい。
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や買物の折などに、挨拶を交わすよう努めている。またクリスマス会に地域の方を招待したり記念品を差し上げたりして交流を図っている。	○	新年会、バザー等招待できる機会を増やし、日常的な付き合いができるように努めたい。
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者の高齢化に伴い、以前のように小学校の文化祭や夏まつり等への参加が難しくなっている。現在は教会の日曜礼拝や地域ふれあい喫茶に参加している。	○	

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	そのような取り組みは出来ていない。	○	運営推進会議等で地域の高齢者の抱える問題点など話し合い地域の高齢者の暮らしに役立つことがあれば積極的に取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を全職員が理解するため今回は全員で自己評価に取り組んだ。また前回の評価の結果の後、運営推進会議の開催や記録の簡略化等に取り組んだ。	○	自己評価、評価結果を元に、全職員が意識して改善に取り組んでいきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議においては、主にサービスの実際や評価への取り組み状況について説明し、ご家族様からは利用者への対応に関する要望を聞かせていただきサービスの向上に努めている。	○	運営推進会議への出席者をもっと幅広く要請し利用者へ還元できるようなものにしたい。
9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区主催の連絡協議会に出席し同業者との情報交換のみならず制度的な事柄についても学ぶ機会があるが、常時行き来出来る状態は作れていない。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員の中には学ぶ機会を持ち知識を持っている者もいるが話し合ったり活用についての支援は出来ない。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修で学んできた職員がホームの全体会議において報告し、勉強会を行っている。	○	職員全体が虐待防止の意識を共有し、介護に当たり事業所内での虐待防止に努めたい。

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得	利用者の家族や身元引受人に対しては入所時に重要事項説明書を用い十分な説明を行いまた質問にも答えて納得してもらえよう努めている。重要事項説明書には確認のための署名捺印をもらっている。		
	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている			
13	○運営に関する利用者意見の反映	使用者が直接訴えられることは少ないが、表された時には十分に考慮している。又ご家族様を通じて面会時にまたメールや電話でホームに対する思いを聞き取り反映させるよう努めている。		
	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
14	○家族等への報告	定期的に“めぐみの丘通信”を送付し、行事の後の写真を添えて、暮らしぶりや健康状態、職員の異動、催しの予定等の報告をしている。また個々に必要な時は電話連絡している。		
	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている			
15	○運営に関する家族等意見の反映	ご家族様から電話やメールで、また面会時にホームへの思いや意見を聞き、反映させるように努めている。また「顧客情報受付表」や意見箱をホーム内に置き、意見や苦情等を受け付けている。		
	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
16	○運営に関する職員意見の反映	申し送りノートや月一回の全体会議において、職員の意見や提案を聞き取り、運営に反映できるようにしている。	○	
	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている			
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整	月単位の勤務表において勤務の調整が出来るよう努めている。また利用者の急変時には緊急マニュアルを作成し対応ができるようにしている。	○	経営的に難しいが職員の増員を望みたい。
	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている			

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動は極力無くし、なるべく近隣居住の職員を採用している。管理者や事務職員は長年勤めており馴染みの関係が作れている。職員は会議等で意見交換を図り、孤立し離職することの無いよう努めているまた異動は“便り”で報告している。</p>		
5. 人材の育成と支援			
<p>19</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の段階に応じた研修を受けている。また職員の資格取得のための勉強のためには出勤日数の調整をする等の便宜を図っている。</p>	○	<p>継続的な外部の研修の機会を設けたり、また内部では勉強会を開いて職員全体の介護力を高めたい。</p>
<p>20</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>3ヶ月に1回区主催の連絡協議会に参加し情報交換と交流を図っている。</p>	○	<p>同じ地域の同業者との交流を図りたい。例えばプルトップを集めて車椅子を送ろうの事業への参加の呼びかけを通じて</p>
<p>21</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>管理者や職員は会社に対する要望があれば会議において運営者に対して進んで話すことができるし、運営者は出来るだけ意向に沿えるよう努力している。また職員間の親睦や交流の機会を設け、少しでもストレスを溜め込まないように努力している。</p>		
<p>22</p> <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者は個々の職員の勤務の状態を把握しており、評価するよう努めている。</p>		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居に至るまでに利用者本人から聴く機会はないが、入所してからは利用者の訴えを良く聴き受けとめまた様子観察に努め不安などを取り除くよう努力している。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所の相談を受けた時点で、ケアマネや管理者は家族から詳しく入所を必要としている状況を聞き取ることになっている。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームに入所を希望されてる方は、他のサービスよりグループホームが必要だと判断されているが、中にはどうしてもグループホームでの対応が出来かねる場面がある。その時は他のサービスを利用してもらうようお願いしている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所時の不安や混乱はあるが、家族と一緒にすごしたり共に食事をしてもらう等徐々にホームに馴染んでいただけるようにしている。入所後しばらくは頻繁にご家族に訪問していただけるようお願いしている。	○	出来れば入所前に家庭訪問をし、本人やご家族と面談したい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者とは出来るだけ一緒に過ごしながらか利用者の気持ちに沿えるよう支援している。利用者から助けてもらったり、教えてもらう場面もある。そのような支えあう関係が築けるよう努力している。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
28	○利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	ご家族とも利用者を共に支える関係でありたいと連携を蜜に取れるよう努めている。誕生会や行事には参加を呼びかけ共にくつろぎ交流を深めている。	○	利用者との関係が希薄な家族には状況を知らせるなどして意識提供したい。
29	○利用者と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者とそのご家族との関係の理解に努めている。また良い関係が続けられるよう支援している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	普段の会話の中で、馴染みのある名前や場所を織り交ぜて支援に努めている。また時にはご家族の支援を得て利用者の行きたいところへ行ったり馴染みの物品を揃えたりしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	良い関係があり助けたり支えあったりしている時には見守りを、悪い時には危険の無いよう間に入り介助する等努めている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用者が入院し、長期化することになりホームは退所扱いとなったが、職員は個人的に訪問を続けている場合がある。また入院中は訪問を繰り返し、死亡時には葬儀に参列したり葬儀を執り行ったこともある。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者1人ひとりの状態や生活特性を把握すること、また普段の会話から希望や意向をつかめるよう努めている。またカンファレンスやケース記録においても同様に努めている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時のアセスメントや日々の生活の中から聞き出している。これらから生活特性を把握し、再度アセスメントを行い課題を明らかにしている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一緒に生活している日々の中からまた日々のケース記録、カンファレンスにおいて個人の情報を把握するよう努めている。	○ 有する力、出来ないことをもっと緻密に把握できるよう努めたりその方法を見出したい。
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	全体会議、随時のミーティング、ケアカンファレンス、モニタリングを実施し、可能な限りご家族も会議に参加して頂き、意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	○ 参加頂けないご家族もあるので電話連絡などで対応して行きたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入院などで見直しが必要になった時は適宜ミーティングをを行い計画の見直しをしている。	

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のケース記録に日々の状態や特記事項を記録し、またケース記録意外にも連絡帳を設け日々の情報を共有している。気づきメモによる情報の共有や介護計画の見直しも実施している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホーム内に看護師および准看護師を配置している。また24時間対応で医師の往診依頼や電話による相談ができる。		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア、近隣の教会、警察、消防署等の協力を仰いでいる。		
41	○他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域のケアマネジャーとは交流があり、入所のための問い合わせがよくある。近隣にグループホームがあり、情報を得ることがある。		
42	○地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に出席してもらい緊密な関係にある。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医による往診体制をとり、定期健診を受けたり緊急時には24時間対応の体制にある。またそれを基に他の適切な医療が受けられるような信頼関係が築けている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医への受診は定期的に行い、出来るだけ多くの情報を報告するようにしている。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	中心であるケアマネが看護師であるため、日常の健康管理、医療機関との連絡が確保されている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中は面会もし状況の把握に努め病院関係者からのアドバイスも受け退院後速やかにホームでの生活に適応出来るようにしている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者、ご家族様の思いを踏まえかかりつけ医、管理者、ケアマネ、看護師、職員は運営者を交えて重度化した場合のホームとしての方針について話し合いを繰り返している。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ホームのハード面から対応できること、出来ないことも多くあるが、掛かりつけ医のアドバイスを受けながらより良く生活して頂けるよう話し合いをしている。ご家族の意向もあり肺炎でも入院せずに掛かりつけ医の往診で回復した例もあり、出来るところまでホームで看たいと考えている。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移転先のケア関係者に利用者の個人情報(介護サマリー)を提供して、ご家族様とも話し合いを持ち出来るだけ住み替えのダメージを防ぐよう努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄の呼びかけにはその人にあった介助を、失禁時にはプライドを傷つけない対応を、入浴時には羞恥心への配慮をした対応を心がけている。また個人の尊厳を犯す恐れのある記録には注意している。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者が思いを言い出しやすい雰囲気作りを心がけ、意思表示したり本音が出せるよう支援している。また一人で出来ることに配慮し、納得できるように介護者が発言するよう心がけている。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	共同生活の一連のきまりの中で、本人に無理に強要するのではなくその人のペースにあった支援を心がけている。また出来る限り希望を叶えられるよう支援している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	個々の身だしなみには日常気をつけ、また好きな服を一緒に買いに行くなどおしゃれにも気を配っている。美容師さんに定期的に出張してもらっている。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力に応じ、食材切りや盛り付けをしていた だき、また職員と一緒に食事をとり楽しんでいただけ るよう心がけている。また食器洗いや後片付けもして いただいている。		
55 ○利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、 好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に 楽しめるよう支援している	お酒、タバコは控えてもらっているが、おやつは一緒 に買物に行って好きなものを選んでいただいている。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの 力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく 排泄できるよう支援している	個々の排泄のパターンを把握し、自然な声掛けによ り排泄を促すことを心がけている。失敗による自信喪 失を防いでいる。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を 楽しめるように支援している	ある程度時間帯は設定しているが、希望のタイミン グに合わせて入浴できるようにしている。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、 安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援 している	利用者の生活パターンを把握し、生活のリズムを作 るよう心がけている。その中で気持ちよく休息して頂 いたり眠れるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみご と、気晴らしの支援をしている	利用者の能力に応じた手伝い(食器洗い、食材切 り、洗濯物たたみ等)をお願いしている。日課の中 にカラオケ、体操などの楽しみを取り入れ、また1対 1の外出や行事や誕生会などの気晴らしも組み入 れている。		


項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者に応じ自らお金を所持したり、預かって一緒に買物に行った時に使えるようにしているが、実際には自分でお金を支払って買物できる方はいない。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には近所を散歩している。買物に出かける時には利用者に声掛けをして誘い一緒に行くこともある。買物以外でもドライブや食事に行ったりも1対1の対応で行っている。毎週日曜日には教会へ日曜礼拝に行き月1回ふれあい喫茶に行っている。	○	利用者の高齢化に伴い、日常の業務に追われ散歩に行きたくても時間が取れないことが多くなりつつある。短時間であっても日課として散歩の時間を組み入れたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	つきに1~2回1対1の外出ケアを計画し、利用者の行きたい所に出かけ好みの食事をとったりしている。年に数回お花見や行楽に家族様もお誘いし出かける機会を持つようにしている。その時にはほぼ全員の職員が参加し介助に当たっている。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様への連絡を必要に応じてまた希望に応じて出来るように支援している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問して頂き、ホームでの普段通りの生活の中で一緒に過ごして頂いている。お茶をしたり食事をしたり、カラオケをすることもある。	○	ご家族様の中には月に数回も来られる方もいるが、全くといって良いほど疎遠になっている方もいる。そのような方には立ち寄って頂けるよう声掛けをして行きたい。
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全体会議において、資料を配布し職員全員が正しく認識し拘束しないケアを心掛けている。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員全員が鍵を掛けないケアを周知しているが、現在ホームが二階建てな為、安全面でやむを得ない状況を顧み施錠している居室がある。また門戸については外道の交通量が激しいので施錠している。		
67 ○利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は絶えず利用者の居場所や様子を把握するよう努めている。ホームが二階建てなので利用者が二階に居られる時は目が届かないが、台所、食堂、居間とは一続きになっているので、殆ど日中居間で過ごされる利用者に対しては注意を払い、安全に配慮している。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	1人ひとりの状態に応じ危険なものは各居室に置かないようにしている。利用者には取り込み行為がある方がいるので日々点検している。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	各利用者の状態に応じて、バリアフリー化、トロミ食、きざみ食の提供、投薬にも注意を払い事故の無いよう取り組んでいる。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当や心肺蘇生法の訓練は職員が個々に受けているが、定期的には行っていない。	○	定期的に訓練が受けられるよう制度化したい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災に備えて自主訓練は実施しているが、昼間のみならず夜間の災害に対しては地域の方の協力が必要だと考える。協力が得られるかどうかは今後積極的に働きかけをする必要がある。	○	地域交流を密にし、協力が得られるよう働きかけていきたい。

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	状態の変化があれば、ご家族と連絡を取り、説明し、ホームでの出来る限りのケアをするよう努めている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化や異常に気付いた時は、早急に掛かりつけ医に連絡し、指示を仰いでいる。当の利用者の状態については速やかに申し送っている。		
74	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は薬の説明書を各ケース及び投薬チェック表にファイルし薬の知識を得た上で間違いの無いようにセットしている。また薬による症状の変化を観察し把握するよう努めている。		
75	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の及ぼす影響について理解し、各利用者の排便チェックを行っている。また毎朝ヨーグルトを食したり野菜を多く摂取し便秘を予防している。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝夕の口腔ケア義歯の洗浄を利用者の力を引き出しながら日常介助している。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人ひとりの食事量、水分量をチェック表に記入し、必要量を確保できるように努めている。また栄養バランスの悪い方や食事が摂取できない方には医師による栄養補助食品の処方してもらい補っている。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対応するマニュアルを作っている。インフルエンザに対しては利用者、職員全員が予防注射を受けている。ノロウイルスに関しては手の消毒、嘔吐物の処理等で対策を講じている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具や食器などの消毒、熱湯消毒、冷蔵庫や冷凍庫の温度チェックを行い新鮮で安全な食材の使用に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前にはプランターの花を置き、建物周りにも季節の草花を植えるなど、家庭的な雰囲気作りに配慮しご家族様や近隣の方にも気軽に出入りしていただけるようにしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が落ち着いて暮らせるよう、音の大きさ、例えば食事中はテレビを消すなどの配慮をしている。食堂や居間は採光を広く取り入れ、山や緑で季節感が感じられる。食堂に続く台所からは調理の匂いがし生活感が感じられる。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関外にベンチを、廊下にはソファをまたテラスにはテーブルと椅子を置く等、1人ひとりが思い思いに過ごせる空間がある。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ベッドたんす等出来るだけ今まで使われていた家具、備品を使っていたら、写真や作品で飾りつけ、個人にあった居室となるよう配慮している。中には馴染みの品の無い殺風景な居室もある。</p>	<p>○</p>	<p>となく居室が物置き場になってしまう感がある。こまめに整理整頓したい。</p>
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>気になる臭いや空気の澱みがないよう換気に気をつけまた冷暖房の温度の調節を利用者の状態に合わせてこまめに行い体調管理に気をつけている。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>床の段差を無くし、引き戸への改修を施し、また手すりを設置する等利用者の身体機能の低下に合わせて安全かつ自立した生活が送れるよう工夫している。</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>トイレへの張り紙、各居室の名前札、居間の日程表やカレンダーの掲示等利用者が混乱や失敗に陥らないよう配慮している。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>テラスでお茶を飲んだり、玄関先の椅子でくつろいだり、敷地内を自由に行き来できる。</p>		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		事業所が示す、取り組みの成果 (該当する箇所の番号の前に○印をつける)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		事業所が示す、取り組みの成果 (該当する箇所の番号の前に○印をつける)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

三度の手作りの家庭料理で家庭的な雰囲気を味わっていただいている。1人ひとりに対するケアを大事にしたいと考えている。